



平成28年6月27日

各 位

会社名： 住江織物株式会社
代表者名： 取締役社長 川端 省三
(コード番号 3501 東証1部)
問合せ先： 執行役員経営企画室部長
新實 啓悦
(TEL06-6251-6803)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成27年7月10日に公表しました平成28年5月期通期の連結業績予想を下記のとおりに修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成28年5月期連結業績予想数値の修正 (平成27年6月1日 ~ 平成28年5月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A) (平成27年7月10日 発表)	98,000	3,800	4,280	2,590	34円33銭
今回修正予想 (B)	97,600	2,700	3,000	1,300	17円23銭
増減額 (B-A)	△ 400	△ 1,100	△ 1,280	△ 1,290	—
増減率 (%)	△ 0.4	△ 28.9	△ 29.9	△ 49.8	—
前期 (平成27年5月期) 実績	91,244	3,188	3,816	1,920	25円46銭

2. 修正理由

自動車・車両内装事業において、米国子会社 Suminoe Textile of America Corporation が昨年9月以降の急激な受注量の増加によって、カーペット、シート地の生産が追い付かない状況が続いておりました。

その結果、生産ラインが混乱し、品質の低下を招き、仕損費が増加しました。また、3直体制が常態化し、人員増強ならびに深夜残業による労務費の追加費用が発生しました。生産不足分は、日本・中国など海外からの供給で補ったため、緊急輸送費用も継続的に発生しました。

内容につきましては、さらなる精査を行っております。

一方、国内の事業では、本年1月の自動車部品メーカーの事故や、4月の熊本地震、5月の一部車種の燃費問題による自動車生産の停止の影響を受け、受注減となりました。

機能資材事業では、太陽光電池向け事業が、受注先による減産の影響を受けて、受注減となりました。

また、連結の経常利益は、営業利益の減少に加え、円高、新興国通貨安などによって為替差損が発生する等の影響を受けました。

上記の予想は、本資料の発表日現在における入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合がございます。

以 上